

木材ニュースレター

(財)日本木材総合情報センター
TEL03-3816-5595 FAX03-3816-5062

木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(22年6月分)

1. 調査実施期間 平成22年 5月20日 ~6月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。

6月分の回答企業数は45社、回収率は97.8%である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

$$\text{Weight. D. I. (ウェイト・ディフュージョン・インデックス)} = \{(\text{「増加」の評価を行った回答の割合}) \times 2 + (\text{「やや増加」の評価を行った回答の割合}) - (\text{「減少」の評価を行った回答の割合}) \times 2 - (\text{「やや減少」の評価を行った回答の割合})\} \div 2$$

したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight. D. I.

		22/6月	7月	8月
仕入動向	国産材	△ 6.9	△ 11.4	△ 10.3
	外材	△ 13.1	△ 8.5	△ 9.8
販売動向	国産材	△ 10.0	△ 12.9	△ 13.2
	外材	△ 7.1	△ 6.0	△ 11.0
在庫動向	国産材	△ 4.4	△ 11.8	△ 10.6
	外材	△ 9.8	△ 11.0	△ 15.0

仕入れは、国産材、外材とも大きめのマイナスでほぼ横ばい。まもなく秋需要準備期を迎え、例年活発化するが、今回変則気味で弱含み。販売は、国産材、外材とも先行きマイナス大きくし後退気味。在庫は、国産材、外材ともマイナス拡大傾向から、先行き不安材料伺える。先行き全項目でマイナスとなり、活性化すべき時期に動き鈍く、今後注目。

(2) 価格動向

表-2 価格 Weight. D. I.

品目	22/6月	7月	8月
スギ正角(グリーン)	2.0	4.0	△ 2.1
スギ正角(KD)	5.6	9.3	0.0
ヒノキ正角	0.0	3.8	0.0
ヒノキ土台角	3.7	5.6	0.0
米ツガ正角(現地挽)	3.7	1.9	3.7
米ツガ防腐土台角	0.0	4.2	6.3
米ツガ割物(現地挽)	14.8	5.6	1.9
米マツ平角	21.2	7.7	2.0
北洋アカマツタルキ(現地挽)	13.0	13.0	9.6
ホワイトウッド集成管柱	42.9	21.4	7.4
レッドウッド集成平角	43.5	26.1	6.5
型枠合板(国産)	43.5	28.3	11.4
型枠合板(輸入)	50.0	31.3	6.5
針葉樹合板	54.5	27.3	7.1

スギ正角(グリーン、KD)、ヒノキ正角、土台とも小幅プラスからゼロないし、小幅マイナスへと推移した。米ツガ正角、割物、防腐土台角いずれもプラス、ゼロと出入りあるが、好調継続している。また、米マツ平角もプラス縮めたが好調である。北洋アカマツタルキ品薄気味でやや大きなプラスで勢いある。WW集成管柱、RW集成平角とも、プラス幅縮めたが好調継続。合板(針葉樹含む)は、大きなプラスを一気に縮めるも、数年ぶりの勢い有し、当面は強い。スギ正角(グリーン)を除く全因子がプラス、ゼロと当面好調安定だが、盛り上がり不透明感ある。

仕入動向	1.荷動き	米マツ一般材丸太では、米国産輸出価が5月積みも全グレードで値上げ。前月同様尺下の値上げ幅が大きい。カナダ材も前月に引き続き値上げ。中国の買いも相変わらず旺盛だが、そろそろ買値に抵抗感が始めている。(東京:米材問屋) 主力商品(カナダ材)にまとまった入荷が無く、サイズの欠品が増えてきている。(東京:米材問屋) 米ツガ、マツともKD角は多少増えている。(東京:米材問屋) 集成材供給不足で仕入れに苦労。(東京:米材問屋) 7月決算のため、6-7月の仕入れは細かく、長期在庫の販売に注力。(東京:外材集成材問屋) 産地天候不順で原木不足。全体の生産量が少ない中で、中国やインドの買い付け意欲旺盛で産地価格強含み。価格が伸びない日本向けには生産意欲無し。(東京:南洋・中国材問屋) 南洋材はコスト高で仕入れ難。(東京:南洋・中国材問屋) 現地の丸太不足があり製品の量少ない。(東京:南洋材問屋) 丸太が少なくなり大口の見積りは山側も慎重。(東京:国産材問屋) 現在の市況を反映して仕入れには消極的。ただし良材は別である。(東京:国産材問屋) 前月に続き北欧材、米加材の一部商品で品薄状態になっている。国産材は価格・荷動き特に変化なし。(東海:外材問屋) 6月に入って荷動きさらに鈍くなっている。東海はかなり悪い。(東海:外材問屋) 6月も引き続き荷動きが幾分良いと思う。(東京:仲買小売) 品薄感、先高感から早めの手配。(東京:仲買小売) 5月は木材市場での入荷は非常に少ない。(大阪:仲買小売)
------	-------	---

販売動向	米マツ一般材丸太、京浜マーケットでは、製材品がグリーン材主体のため価格の伸びは全く期待出来ず、KD製材品の値上げにも反応が鈍い。問屋はコストアップから更なる値上げを提示している。(東京:米材問屋) 角は通常通り、割物は引続き良い。(東京:米材問屋) 少しだが構造材に動きあり。(東京:国産材問屋) 全くの販売不振。木材業を継続しているのかと自問自答している。(東京:米材問屋) 受注量は増加傾向にはあるが価格は依然として厳しい。顧客により仕事の有無の差が大きくなってきた。(東京:南洋・中国材問屋) バンドル単位の動き悪く、細かい注文材が目立つ。(東京:南洋・中国材問屋) 5月に比べ6月は一服状態。(東京:米材問屋) 6-7月は例年荷動きが良いので期待したい。(東京:外材集成材問屋) スギ間柱・野地板に引合増。(東京:国産材問屋) 前月に続き、特殊な材のみの荷動きで、量より質の時代となってきた模様である。(東京:特殊材・銘木問屋) 6月半ばだが悪くなってきている。新年度への期待が強すぎたか。輸入材が強含みだが在庫積み増しするまでに至っていない。(東京:国産材問屋) 引き合いは程々あるが先の仕事は減量。(東京:南洋材問屋) 最悪期は脱しつつある印象。持家需要の底打ちは国産材にはプラス。(東京:国産材問屋) 5月休み明け、スギ材は特等一の役物がよく動いた。スギの注文材が多くなってきた。(東京:国産材問屋) ムク材役物は売れず。スプルーース貼物などの安値の物に動きある。(東京:国産材問屋) 今まで1ヶ月で売れていたものが2ヶ月かかるようになった。したがって売上は半分。(東京:仲買小売) 半年~1年前の見積り物件が現実化しているなど、少し動きを感じるようになって来た。(東京:仲買小売) 5月下旬頃から急に荷動き減少。3月頃と同じような状況に落ち込んでしまった。政治・経済の不透明感が払拭されなければ大きな期待はかけられないか。(東京:仲買小売) 梅雨明けから荷動きが活発になる様子。(東海:仲買小売) 大阪の問屋、小売店ともに売上は前月比、前年比共にダウンの企業が多いと聞く。非常に厳しい5月販売高。6月は少し良くなるか。(大阪:仲買小売) 連休後荷動きが悪い。6月も悪いと思う。(大阪:仲買小売) 関東はマンション売行きが追い風を受けているが、関西はまだ不発。需要低迷にかかわらず価格上昇は不明。(大阪:仲買)
------	---

在庫動向	製材メーカーに合わせた仕入れに力点を置いているため、問屋の手持ち在庫に不良品は見当たらず、適正在庫で推移している。(東京:米材問屋) 来月久しぶりに入荷が予定されているが、それまでは在庫は皆無。(東京:米材問屋) ツガKD角の在庫は多少プラス、割物は少ない。米マツも同じ。(東京:米材問屋) 良材製品は動き悪くとも在庫しようと思うが、良いものが無い。(東京:国産材問屋) 現状もしくは減少していきたい。(東京:外材集成材問屋) 正常在庫よりかなり少なくなりそう。(東京:南洋材問屋) 新規入荷も見られるようにはなったが、殆どは売り先が決まっておる余剰在庫は無い。依然として入荷が見られない製品もある。(東京:南洋・中国材問屋) 見込み仕入れの材が売れなくなってきて在庫少々増加がみ。(東京:米材問屋) 中国材は入荷が少なく在庫は少ないが、出材も少ないためバランスは取れている。(東京:南洋・中国材問屋) 近場に木材センターがあり、必要以上の在庫の必要なし。(東京:仲買小売)
------	---

2.価格動向	
スギ正角	注文材は強含みの傾向。(東京:問屋) 仕入強。売保合い。(東京:問屋) 今月も変動なし。しかし外材で品薄商品が出ると、すぐ同寸法の国産材スギに買いが入る。(東京:仲買) 丸太不足から強含みの話を聞くが、まだ川下には広がっていない様子。(東京:仲買)
ヒノキ正角 土台角	価格・荷動き変化なし。(東海:問屋)
米ツガ	ツガ・マツともに仕入価格上昇。売価に乗せるには時間がかかる。(東京:問屋) KD材多少上昇気味。(東京:仲買) 米マツ・北洋アカマツとも2,000円/m ³ 上昇。(大阪:仲買) 割物、メーカーによっては値上げ。(東京:仲買)
米マツ平角	5月に一回値上げしたがその後は無風状態。(東京:問屋) 5/21よりKD平角 2,000円/m ³ 値上げ。(東海:問屋) 川上の値上げが川下まで下りてくる気配。(東京:仲買)
北洋アカマツ タルキ	相変わらずの品薄。(東京:仲買)
WW・RW 集成材	入荷の度に価格上昇していたが、7月に一服するのでは。(東京:問屋) RW価格も頂上かもしれない。(東京:問屋) RW中断面の値上げが続いている。8月まで続きそう。WW柱はそろそろ落ち着くと思われる。(東京:問屋) 105角 2,000円/本。120角 2,500円/本。B/Lで59,000~60,000/m ³ 。(東海:問屋) 品薄状態。価格も8月頃までは上昇か。(東京:仲買) 部分的品薄で単価も上っている。(東京:仲買)
合板	針葉樹合板12mm 800円/枚、厚物合板64-65/mm、28mm、3×6、1,800円/枚。(東海:問屋) 今までなら値上げムードになってもおかしくないが、需要が無ければ如何ともし難い。(東京:仲買) 景気の変動ではなく輸入との兼ね合いで品薄のため単価上昇している。(東京:仲買) 輸入合板はじわじわ上昇。針葉樹は今月に入り急上昇。8月頃までは上がる気配。(東京:仲買) そろそろ感はあるがまだ不透明。(東京:仲買)